

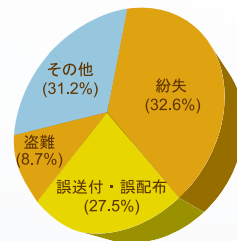


TotalFileGuardにお任せください!

～暗号化による社内情報セキュリティ～

ある調査では、情報漏洩の原因で、第1位「紛失(32.6%)」第2位「誤送付・誤配布(27.5%)」第3位「盗難(8.7%)」となっています※。いわゆるミス・不注意による漏洩が全体の約70%を占めています。

そこで、平時の社内保管からファイルを暗号化して運用する、TotalFileGuardにお任せください。TotalFileGuardはファイルを暗号化して保管していますが、ファイル操作には全く変更を必要とせず、これまでの非管理状態と同じ操作プロセスで暗号化管理が可能です。万が一の誤操作や誤送信で情報が社外に流出しても、ファイル内容の流出まで影響が及びません。「転ばぬ先の杖」としてTotalFileGuardが役立ちます。



ミス・不注意が全体の約7割!

●メール添付、FTPサーバへの対応にも

メール添付、FTPサーバへのアップ等、業務の都合上制限できない個所からの情報漏洩も多発しています。そんな時もファイルを暗号化していれば安心です。

ADLPA (Asian Data Loss Prevention Association) 調べ「Top 3 reasons to cause data breaches across Asia 調査報告書より」

TotalFileGuardの6大特長

1. 全過程をコントロール

文書作成～送信～削除までのファイル・ライフサイクルを完全にコントロールします。



4. 全過程の追跡

詳細なファイル操作ログ(開く・編集・コピー・移動・リネーム・削除)や、印刷ログ及びウォーターマーク技術を組み合わせた印刷物の追跡、あるいはレポート機能によるログ監査を行います。



2. 意識させない保護

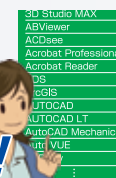
ファイル種類、操作手順を変更することなくファイルの暗号化を行えます。暗号化ファイルを開くためにわざわざ専用ソフトウェア等を使用する必要はなく、ユーザの操作に影響を与えません。



5. 対応フォーマット多数

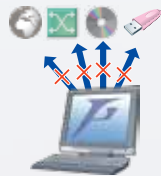
現在150種類以上の各種アプリケーションソフトに対応しています。更なる増強のために迅速な開発を行っています。

約150種類!



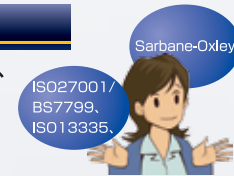
3. データ漏洩防止

USBメモリ・CD-ROM・Bluetooth・電子メール・FTP・無線LAN等、あらゆるモバイルデバイス及び通信機器からのデータ漏洩を防止します。

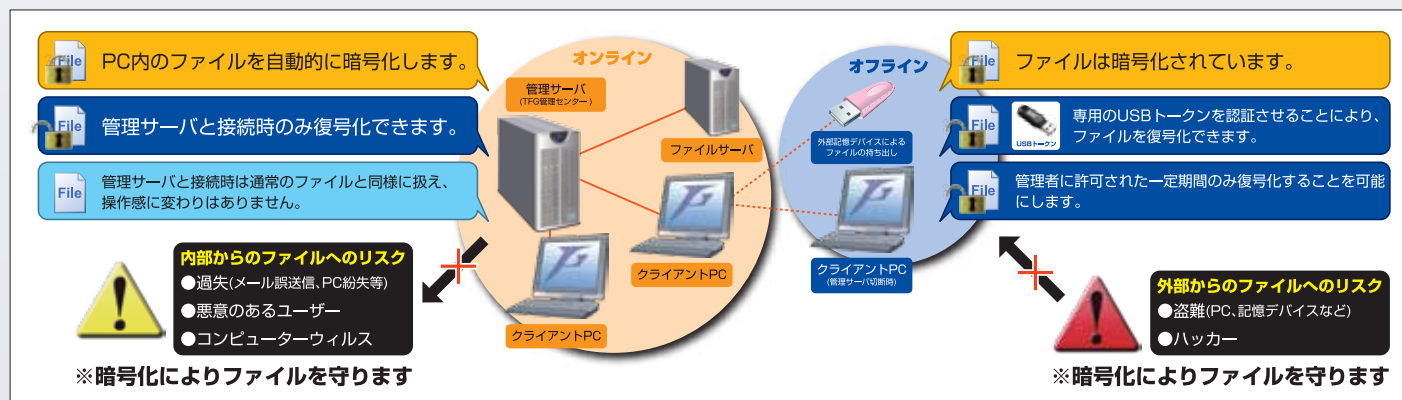


6. 国際認証基準への対応

ISO27001/BS7799、ISO13335、Sarbane-Oxleyの情報保護と安全管理の基準に対応しています。



TotalFileGuardの基本的な動き



●ファイルは暗号化されていますが、通常のファイルと同様に扱え操作感に変わりありません。

●万が一ファイルを外部に持ち出されたとしても、TFG管理サーバと非接続であればファイルは暗号化され閲覧されません。

TotalFileGuardは、ファイルが作成・編集・複製・リネーム・移動された時に自動的に暗号化します。

そしてそのPCがTotalFileGuardの管理サーバと接続さえしていれば、ファイル使用時に自動的に復号化されます。PCがTFG管理サーバと非接続のときは、ファイルは暗号化されたままで開けません。

ユーザが、いつもと同じようにファイルを保存して再び開くという行動をした時に、ユーザが全く意識をしないまま、ファイルの暗号化⇒復号化というプロセスが自動的に行われています。



TotalFileGuard

TotalFileGuard(TFG) では、これまでの機能がさらに使い易くなっただけでなく、さらに安心して情報を利用できる機能が新たに追加されました。その主な機能をご紹介します。

■ TotalSafePrinter(TSP)

どうしても情報を社外に提供しなければならない状況で、提供先での情報の利用方法に制限を加えたい場合に利用します。提供先のPCにクライアントプログラムがインストールされている必要はありません。

閲覧/印刷制限、自動消去等の制御をファイル自体に付与させるツールです

- 特徴** 提供した情報のライフサイクルを自社で決定することができ、サーバの管理外でも設定されたライフサイクルに従って動作するファイルを作成できます。
- 設定可能項目** ・閲覧回数 ・印刷の可否 ・有効日数 ・ウォーターマークの設定 ・認証方法 ・権限消化後の消去



■ 暗号化・復号化の処理速度改善

大量のファイルを一括で暗号化・復号化する際にそれぞれのファイルのチェックを行う動作に改善を加えました。従来のバージョン (TFG2008) と比較し、新バージョンでは、1～10倍^{*1}の速度で暗号化、復号化の処理を行えるようになりました。弊社環境の試験でも従来バージョンと比較し、約1,000個のファイルを暗号化・復号化する時に必要した時間は、従来バージョンの半分の時間で完了したことを確認しました。^{*2}



^{*1}: 開発元の調査による。
^{*2}: 15KBのWordファイル1,000個、及び1MBのWordファイル500個を一括で暗号化し、さらに一括復号化してその処理時間を比較しました。その結果双方の結果で処理時間が約半分に短縮されたことを確認しました。

■ クライアントPCのファイル自動バックアップ機能

ユーザの意思に左右されずにTFG独自のファイルバックアップ機能を利用することができます。バックアップ元をフォルダ単位で設定できるので、不要なファイルまでバックアップすることがありません。そのため、社内ネットワーク環境への負荷を抑えることが可能です。

